

学校法人白頭学院
理事会・評議員会 貴下

2017年度 学校関係者評価

2018年 3月17日
学校法人 白頭学院
建国中学校
学校関係者評価委員会

○学校関係者評価実施について

- ・日時：2018年3月10日
- ・場所：白頭学院 会議室
- ・学校関係者評価委員会人員構成(参加者)：4名
李乙峯(PTA 会長), 李貞姫(PTA 副会長), 李千香子(保護者), 洪隆男(教頭)

○学校関係者評価内容

：学校評価アンケートをもとにして教員、保護者役員とアンケート結果の確認と把握をしながら意見交換を実施。

[教育目標関連]

- ・「きちんと挨拶ができる」、「目上の人に丁寧な言葉遣いをしている」は生徒・保護者共に評価が高い事から基本的な礼儀習慣が備わっているようだ。
- ・「学校に誇りを持っている」の評価が高い一方、「教育理念・目標を理解している」は低い事から、民族学校としての認識は各学年で理解度に差があると思われる。中学生全体に認識できる伝え方で学校行事を通して取組んでいただきたい。

[学習関連]

- ・今年度より実施されているモーニングテストは、生徒たちの学習意欲向上のきっかけとなっているので継続してほしい。また、モーニングテストの結果及び出席状況が家庭に郵送されることで、学校生活の一部ではあるものの子供の現状把握には役立っているようだ。
- ・本来ならば生徒の回答が100%でなければいけない「授業は工夫されていてわかりやすい」「授業のわからないところなどについて質問しやすい」が60%前半であり、よくあてはまるはわずか6~8%である。これに対し、教員の自己評価は4.1(約80%)である事から生徒と教員の認識に大きな隔りがあると言える。また、授業の進め方についても板書の写し方に問題があったり、

教科によっては授業時間が足りないなどの問題もあり、教える側の更なる工夫は必要であるといえる。

生徒の「学習に熱心に取組んでいる」「授業は集中して聞いている」の%はたかいことから個々に学びたい意欲はあるものの、勉強がわからない状態にあると思われる。保護者の評価も生徒と同じである事から、工夫されてわかりやすい授業、分からない事は聞ける環境があつてこそ生徒の学習意欲が高まり、結果学力の底上げに繋がると考える。

[教育環境]

・「悩みを相談する環境がある」で生徒・保護者共に 60%に対して教員評価は 80%である。思春期の子供たちは親や教員、友達、先輩にも自分の思いを口に出す又は、うまく伝えることが出来ない時期であり、小さな悩みから大きなトラブルに発展する事が多いようである。第三者に話をすることで解決にならなくても気持ちを整理したり、糸口を探す事が出来ることがある。心の平穏は学校生活、家庭生活に直結するのでスクールカウンセラーの積極的な活用を願うものである。また、建国は民族学校の為、韓国からの転入生と日本で生まれ育った生徒の間で、言葉の壁によるストレスを抱えた生徒もいる現状があり、専門家による心理面のフォローは教育的観点からも必要であると考え。現在、スクールカウンセラー1名、週1回のカウンセリングであるが、生徒数470名に対してカウンセラー1名の為、予約待ちで諦めてしまう生徒が多数いる。保護者としてカウンセラー2名に増員又は、回数を週2~3回に増やして頂けることを切に要望するものである。

[総評]

・アンケートの全体を見ると各項目で概ね 60%以上の肯定的な回答である事から一定の評価水準には達していると思われる。しかしながら、学習面で生徒・保護者・教員間の意識に隔たりがある事も分かり、生徒が意欲を持って学べる環境作りが教員に求められているといえる。学習面・心理面の支えも合わせて充実した学校生活を送れることを期待する。